

埋文やまがた



2007年2月28日

第37号



縄文時代の土坑・柱穴群（小国町 ^{しもかのみず}下叶水遺跡）

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2006年度 文化財普及事業の報告

<調査説明会>

市町村	遺跡名	開催日	参加者数
1 南陽市	上野遺跡	平成18年6月15日	35
2 新庄市	中川原C遺跡	6月28日	75
3 米沢市	山ノ下遺跡 稻荷山館跡	8月2日	関係者
4 南陽市	石畑遺跡	8月4日	57
5 鶴岡市	木の下館跡 興屋川原遺跡 玉作1遺跡 岩崎遺跡	8月27日	63
6 南陽市	檜原遺跡(1次)	9月15日	39
7 南陽市	檜原遺跡(2次)	10月25日	48
8 南陽市	加藤屋敷遺跡	10月27日	20
9 上山市	中山城跡	10月27日	79
10 南陽市	上大作裏遺跡 天王遺跡	10月28日	20
11 鶴岡市	行司免遺跡	10月28日	60
12 小国町	下叶水遺跡	10月29日	85
13 鶴岡市	矢馳A遺跡 南田遺跡 興屋川原遺跡	11月19日	58
14 南陽市	百刈田遺跡	平成19年1月24日	関係者

<発掘調査報告会>

期日 平成18年12月16日(土)・17日(日)
会場 山形国際交流プラザ
内容 報告会：県内8遺跡の調査報告
遺物展示：企画展「発掘された被災遺跡」
体験コーナー：
勾玉づくり、アンギン編み ほか
入場者 576名

<外部展示>

「高嶺南遺跡、菖蒲江1・2遺跡」展
期日 常設
会場 山形県総合交通安全センター

「県庁の下は縄文時代」展
期日 平成18年6月26日～7月14日
会場 県庁ロビー県民ギャラリー
入場者 577名

「日本最大の縄文土器」展
期日 平成18年8月22日～9月18日
会場 山形空港ビル特設ギャラリー
入場者 611名

「県内4地域の歴史新発見」展
期日 平成18年11月2日～29日
会場 山形県郷土館「文翔館」ギャラリー3
入場者 264名

<出前授業>

実施校	期日	対象・内容
1 上山市立西郷第一小学校	平成18年4月18日	6年社会科「大昔の人々の暮らし」
2 上山市立西郷第二小学校	4月20日	6年社会科・5年総合学習「縄文時代の暮らしと西郷第二」
3 天童市立干布小学校	4月25日	6年社会科「大昔の人々の暮らし」
4 寒河江市立寒河江小学校	4月26日	6年社会科「大昔の人々の暮らし」
5 舟形町立長沢小学校	4月27日	6年社会科「縄文時代の暮らし」
6 中山町立豊田小学校	5月9日	6年社会科「縄文時代の暮らし」
7 東根市立東根小学校	5月11日	6年社会科「大昔の暮らしをさぐる」
8 山形市立大郷小学校	5月15日	6年社会科「大昔の人々の暮らし」
9 山形市立桜田小学校	5月17日	6年社会科「縄文時代の暮らし」
10 真室川町立釜淵小学校	5月24日	5・6年社会科「大昔の人々の暮らし」
11 寒河江市立三泉小学校	5月26日	6年社会科「縄文時代へタイムスリップ」
12 天童市立高嶺小学校	5月31日	6年社会科「縄文時代へタイムスリップ」
13 新庄市立新庄中学校	6月1日	1年市域学習「大昔の人々の暮らし」
14 河北町立溝延小学校	6月5日	6年社会科「縄文時代へタイムスリップ」
15 寒河江市立醍醐小学校	6月15日	6年社会科「縄文時代へタイムスリップ」
16 天童市立天童中部小学校	6月22日	6年社会科「縄文時代の山形」
17 山形市立宮浦小学校	6月27日	6年社会科「縄文時代へタイムスリップ」
18 上山市立南小学校	7月16日	6年親子行事
19 山形県立山形盲学校	8月4日	サマースクール「特別授業社会科」
20 山形市立第七小学校	9月27日	2年親子行事「縄文体験 勾玉づくりを体験しよう」
21 山形市立第八中学校	10月15日	2年学校行事
22 中山地区公民館	10月15日	小学校1～6年親子行事
23 山形市立第八小学校	10月21日	5年親子行事「大昔の暮らし」
24 山形市立第六中学校	10月27日	文化祭支援「地域交流・文化講座」
25 天童市立荒谷小学校	11月4日	天童育成事業支援
26 寒河江市立三泉小学校	11月9日	6年社会科「体験活動」
27 山形県朝日少年自然の家	11月11日	「朝日わくわく広場⑥朝少まるごと縄文村」
28 天童市立高嶺小学校	11月21日	6年社会科「縄文時代の暮らし」
29 寒河江市立陵南中学校	平成19年1月12日	おもだか教室1～3年「縄文時代の人々の生活と食文化」
30 真室川町立釜淵小学校	1月18日	6年交流学習「大昔の真室川の周辺」
31 天童市立高嶺小学校	1月23日	6年社会科「縄文時代の人々の生活」

現地調査説明会



↑
←新庄市 中川原C遺跡



↑南陽市 天王遺跡



↑米沢市 山ノ下遺跡

↓小国町 下叶水遺跡



発掘調査報告会「発掘やまがた最前線」



玄関から



エスカレーターで2階へ



縄文人がお出迎え



報告会場へ



展示・体験会場へ



↑ 勾玉づくり



← 縄文クッキーづくりと
弓矢とばし



今年も

企画展 大盛況!



「県庁の下は縄文時代」展

期日 6月26日(月)～7月14日(金)
会場 山形県庁1階 県民ギャラリー
内容 熊の前遺跡発掘資料の展示

県庁や県警本部がある場所は縄文時代のムラの跡がありました。工事するにあたって発掘調査が行なわれ、たくさんの家の跡や土器石器が出土しました。齋藤知事をはじめ、大勢の方々から見ていただきました。



「日本最大級の縄文土器」展

期日 8月22日(火)～9月18日(月)
会場 山形空港ビル2階 特設ギャラリー
内容 水木田遺跡 発掘資料の展示

最上町水木田遺跡は縄文時代中期の大きなムラの跡です。ここから国内でも最大級の縄文土器が出土しました。高さ92cmを測り、とても大きな土器です。その他に様々な土偶や石器が出土しています。空港祭りに合わせた展示となり、たくさんの親子連れが訪れました。



「県内4地域の歴史新発見」展

期日 11月2日(木)～11月29日(水)
会場 山形県郷土館 文翔館 ギャラリー3
内容 鶴ヶ岡城跡 上野遺跡 山形城三の丸跡
米沢城跡 発掘資料の展示

近年、山形県各地において城館跡の発掘調査が行なわれています。庄内・最上・村山・置賜を代表する城跡の調査と出土遺物を展示しました。文翔館のギャラリーでの展示でしたが、たくさんの方が見学に訪れました。山形城の金箔瓦や米沢城から出土した刀などに見入っていました。

学習・体験出前授業



訪問した学校(実施順)

上市市立西郷第一小学校	河北町立溝延小学校
上市市立西郷第二小学校	寒河江市立醍醐小学校
天童市立干布小学校	天童市立天童中部小学校
寒河江市立寒河江小学校	山形市立宮浦小学校
舟形町立長沢小学校	上市市立南小学校
中山町立豊田小学校	山形県立山形盲学校
東根市立東根小学校	山形市立第七小学校
山形市立大郷小学校	山形市立第八中学校
山形市立桜田小学校	山形市立第八小学校
真室川町立釜淵・大滝小学校	山形市立第六中学校
寒河江市立三泉小学校	天童市立荒谷小学校
天童市立高掬小学校	山形県朝日少年自然の家
新庄市立新庄中学校	寒河江市立陵南中学校



干布小学校
弓や槍を見てびっくり

たくさんのお友達と学習することができました。
みなさんどうもありがとうございました。



新庄中学校
本物の土器や石器に触れました



西郷第一小学校
火起こしはたいへんでした



釜淵・大滝小学校のみなさん
縄文人に変身！ ハイポーズ！



豊田小学校
真剣にお話を聞いてくれました

たくさん来たよ!見学・体験学習

●センターをはじめ各遺跡の発掘現場に多くの学校から見学や体験学習に訪れました。



大昔のくらしの様子を知ってもらうために副読本を作ったよ。小中学生にも理解してもらえるようにわかりやすく、写真や絵をたくさん使いました。もうすぐ完成します。お楽しみに!

副読本の内容は、縄文人の一年間のくらしを通して、家の様子や道具、いろいろな仕事について紹介しています。

主な内容は

- 春 縄文人のムラと住まい
- 夏 マツリのように
- 秋 森の恵み
- 冬 縄文人の冬のくらし

などです。



上山市中山城跡へ
寒河江市内の小学生



・鶴岡市行司免遺跡へ
鶴岡市上郷小学校



・小国町
下叶水遺跡へ
叶水小中学校



鶴岡市矢馳A遺跡へ
鶴岡市福栄小学校



・センターへ
山形市立第十中学校

川西町^{どうでん}道伝遺跡の調査から

山形県の置賜地方川西町下小松にある「道伝遺跡」は、昭和54年～57年まで圃場整備にともなって発掘調査が行われました。土師器や須恵器などの当時使われた器とともに、生活の様子を物語る^{くわすき}鍬や鋤などの木の農具や、寛平八（896）年に記された「木簡」、全国でも数少ない「絵馬」が出土し注目を集めました。ここは、置賜郡の奈良・平安時代の役所に関する遺跡と考えられています。

さらにここでは「米」が出土しました。発掘調査に参加した方々を中心として、遺跡にちなんで古代米を作りこれで酒を造って、見つかったのと同じ土器を作って酒を酌み交わそうという企画が持ち上がりました。平成5年には「黒米を楽しむ会」が生まれ、黒米の栽培に取り組みました。無農薬・有機栽培はもちろんのこと、できるだけ古代に近い方法を意図しているということです。このようにして作られた黒米を、地元の「中沖酒造」さんで醸造したのがこのお酒です。ほんのりとした赤みがかわいいです。

遺跡の調査がきっかけとなって、町の活性化に一役かっていることはすばらしいことと思います。



黒米で作った酒と古代米

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301 (代表)

■ 編集後記 ■

今年度の普及活動をまとめました。文化財は適切に管理され、広く活用していくことが、調査を担当した我々の責務といえます。

今年は暖冬でかなり過ごしやすい日々が続いていますが、各地の「雪まつり」や農作物への影響が心配されます。